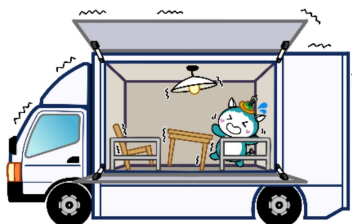


発 行 六会地区防災リーダー連絡会
事務局 六会市民センター 地域づくり担当
TEL 81-6677 FAX83-2298
編集担当自治会: 大神、桜ヶ丘、
西俣野下、卸売団地、ダイヤパレス湘南台Ⅱ

横浜市民防災センターへの視察

2023 年 1 月 28 日(土)六会地区防災リーダー連絡会研修会メンバー計14名が、横浜市民防災センター(横浜市神奈川区沢渡 4—7)を視察いたしました。

当日はシミュレーター等による地震・火災体験ツアーへの参加と、講師の方から、災害に対するとても大切なアドバイスもしていただきましたので、それらを紹介させていただきます。



地震・火災体験ツアー(60 分)への参加

地震シミュレーターでは、過去の地震や戸建住宅や超高層ビルの揺れなど最大震度 7 まで様々な揺れを体験しました。手すりにつかまることが出来たので、何とか立っていられたましたが、実際に震度 7 が起きた時はそうはいかないのでは、と思い知らされました。



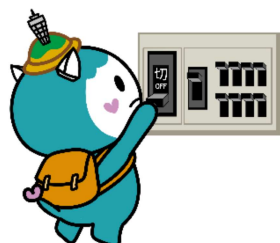
地震シミュレーター

火災シミュレーターでは、消火体験と煙体験をしました。消火体験では、消火器シミュレーターによる使用体験をしました。その際のアドバイスとして消火器の放射時間は 15 秒しかない、初期消火には有効だが、火の手が壁や天井等に渡る場合は即座に避難をするようにとのことでした。



消火器シミュレーター

煙体験では煙シミュレーター室内で有害性のない白色の煙が充満していく中を避難する体験ができました。その際のアドバイスとしては、煙を直接吸わないようにタオルやハンカチで鼻や口を覆い、浅い呼吸をしながら、姿勢を低くして、移動するようにとのことでした。



煙シミュレーター内部

講師の方からのアドバイス

関東地方は近年、地震台風などの災害が少ないため、いざ災害が発生したら、備えが出来ていない人も多いのでは。

今からでも下記のような準備や心構えをするようにしてください。

- ・最低3日間分の水・食料の備蓄
- ・地震が発生したら何処に避難するか、家族で日頃から確認しておく(会社に居たら会社に泊まる等)
- ・家から避難する時は必ずブレーカーを落とす(火災防止)
- ・玄関のドア等に避難先が分かるメモ書きを残す



センター講師の新井様
とても分かり易く・実践的なアドバイスを
をしていただきました。